

科目名 「健康社会学」

学年	学期	科目責任者
1	後学期	植田 結人
科目ナンバリング	A-1-②-I-05	
単位数	1	
学修目標 (GIO)	健康社会学の目的は、人々の健康を支えている現実を人生、愛、夢そして生活の場である、街、地域社会、職場、学校、家族、保健医療施設等との関係において理解した上で、その健康を創造する知識と技術（ヘルスプロモーション）を社会学的視点から明らかにしてゆくところにある。健康社会学は、行動科学・心理学・保健学・文化人類学など様々な専門分野の知識を統合し、人間のライフ=life（生命・生活・人生）を包括的に捉えていく考え方にその特徴がある。ヘルスプロモーションを理解することをねらいとし、現代社会で起こっている身近な出来事や社会問題をクローズアップし、グループディスカッションを行い、またこのディスカッションを通じ健康社会学的創造力を養い、さらには「自己（自分）」と「他者（社会）」について深く考察することで「自分らしさ」を育てる機会にする。	
担当教員	植田 結人	
教科書	・健康社会学講義ノート 島内憲夫・鈴木美奈子 著 順天堂大学	
参考図書	・ヘルスプロモーション—WHO:バンコク憲章 島内憲夫・鈴木美奈子 著 アンソニー・ギデンス著 而立書房 その他 講義中に紹介する	
評価方法 (EV)	レポート試験（70%）、課題レポート・発表（20%）、日々の学修状況・出席状況（10%）を総合して評価する。また、レポートに関しては、健康社会学について調べたり、授業で学んだりしたもののみを記述するだけでなく、自分のアイデアや意見を記述できるものは加点対象とする。（知識・技術の応用・実践力を評価するため）	
学生へのメッセージ オフィスアワー	将来、保健医療従事者を志すにあたり、健康社会学を通して「健康の多様性」についての理解を深め、患者一人一人に誠実に向き合い、人々の健康を創り出す人材になれるよう、ともに学んでいきましょう。授業時間の前後に質問がある場合は対応します。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/5	健康社会学とは何か 健康社会学的創造力	<p>【授業の一般目標】 健康社会学の定義とその中心概念（健康、生活、人生、愛、夢、ヘルスプロモーション等）について基本的な意味を学ぶ。健康社会学的創造力は「社会的なもの」と「個人的なもの」との関係性を考察する力を生み出す。この力を養うために、私的な方法（自己発見に関わる問題）と公的な方法（社会発見に関わる問題）を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ・「主体性：アイデンティティ」、「関係性：ソーシャルネットワーク」というキーワードから「私」社会学のきっかけを見出す。</p> <p>【準備学修項目・時間】 健康社会学の中心概念について各自の考えをまとめておく。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有り（ペア学修・グループ学修）</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	植田

<p>第2回 10/12</p>	<p>ワーク① 人生ゲーム</p>	<p>【授業の一般目標】 自分は今まで誰にどのような影響を受けながら成長してきたのか、振り返りながら、グループのメンバーと共有することで、自分自身について深く考える。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・自分の人生が誰からどのような影響を受けているのか再認識する。</p> <p>【準備学修項目・時間】 子供時代のエピソードを探しておく。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り(グループワーク)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第3回 10/19</p>	<p>健康とは何か 主観的健康観と健康の多様性</p>	<p>【授業の一般目標】 健康の考え方は、家族地位、その人の役割、そしてライフコースによって変化していくことを学ぶ。また主観的健康観の意味を考察し、一般の人々の健康に対する考え方が、日常生活や長い人生の中で生じるさまざまな出来事を体験することから生まれていることに気付き、「Health is a social idea」の意味を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・学生自身の考えを提示してもらい「健康の本質」に考察する。 ・主観的健康観について説明できる。 ・「病気を治す」から「健康をつくる」という健康創造について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 「健康とは何か？」自分の考えをまとめておく。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (ペア学修・グループ学修)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第4回 10/26</p>	<p>健康の社会化と健康行動</p>	<p>【授業の一般目標】 人々が健康に関わる知識態、態度、行動様式を獲得する過程(健康の社会化)を理解する。またその社会化の担い手である健康的な小集団について理解する。健康行動を支える理論やモデルについて理解し、健康行動を促進する方法について学修する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・健康の社会化について説明できる。 ・健康行動と健康(保健)欲求が説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 各自で行っている「健康づくり」について話題をあげておく。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (ペア学修・グループ学修)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第5回 11/2</p>	<p>ヘルスプロモーション</p>	<p>【授業の一般目標】 WHO(世界保健機構)が提唱したヘルスプロモーションの定義、ヘルスプロモーションの原理、ヘルスプロモーションの5つの活動について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・ヘルスプロモーションの定義が説明できる。 ・図解ヘルスプロモーションが説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 ヘルスプロモーションという言葉調べておく。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (ペア学修・グループ学修)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>

<p>第6回 11/9</p>	<p>幸福と健康</p>	<p>【授業の一般目標】 ヘルスプロモーションの目的の一つである幸福について考え、幸福の概念や科学的根拠のある幸福の決定要因について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・幸福の概念が説明できる。 ・幸福の決定要因について説明できる</p> <p>【準備学修項目・時間】 自分の幸福とはなにか考えておく。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (ペア学修・グループ学修)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第7回 11/16</p>	<p>ダイバーシティと健康</p>	<p>【授業の一般目標】 ヘルスプロモーションの目的の一つである真の自由について考え、現代の社会情勢・ニーズからダイバーシティについて学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・ダイバーシティが説明できる。 ・ダイバーシティに関する社会問題を挙げる【準備学修項目・時間】 ダイバーシティに関するニュースを調べておく。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (ペア学修・グループ学修)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第8回 11/30</p>	<p>健康な家庭づくり</p>	<p>【授業の一般目標】 家族の定義、家族の機能、家族のストレスについて理解し、家族の健康づくりについて考える。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 家族のライフサイクルの中で生じる健康問題を説明できる。 家族の機能が説明できる</p> <p>【準備学修項目・時間】 各自の体験として「家族に与えられているもの・与えているもの」を考えてくる。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (ペア学修・グループ学修)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第9回 12/7</p>	<p>健康な学校づくり</p>	<p>【授業の一般目標】 ヘルスプロモーションの視点から健康な学校づくりの方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・健康な学校づくりを支える5つの活動について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 小・中・高校において思い出に残る体験、経験を話題としてあげておく。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (ペア学修・グループ学修)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>

<p>第10回 12/14</p>	<p>健康なまちづくり</p>	<p>【授業の一般目標】 WHO（世界保健機構）が提唱したヘルシー・シティーズ・プロジェクトをもとに、健康なまちづくりについて考える。</p> <p>【行動目標（SB0s）】 ・健康なまちの定義が説明できる。 ・健康なまちづくりの基本施策を列挙し説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 自分の住んでいるまちの便り（市政だより）を持ってくる。（30分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り（ペア学修・グループ学修）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第11回 12/21</p>	<p>健康な職場づくり</p>	<p>【授業の一般目標】 健康経営、職場のメンタルヘルス、職場のヘルスプロモーションについて学修し、職場の健康づくりの方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SB0s）】 ・職場における健康問題が列挙できる。 ・「ストレス」「ストレスコーピング」について説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 各自がどんな時にストレスを感じるか、話題としてあげておく。（30分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り（ペア学修・グループ学修）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第12回 1/11</p>	<p>健康な病院づくり</p>	<p>【授業の一般目標】 病院におけるヘルスプロモーションの5原則を学修し、健康な病院づくりについて考える。</p> <p>【行動目標（SB0s）】 ・健康な病院づくりの施策（医療制度）や、その環境づくり（ハード面・ソフト面）について説明できる。 ・「医療従事者としてのあるべき姿」として、医療従事者の役割、患者に接する態度、患者のQOL(生命・生活・人生の質)について自分の意見を持つ。</p> <p>【準備学修項目・時間】 健康な病院とはどんな病院か考えてくる。（30分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り（ペア学修・グループ学修）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第13回 1/18</p>	<p>ワーク② 健康な〇〇づくり</p>	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容を踏まえて、新しいヘルスプロモーション活動をグループで考える。</p> <p>【行動目標（SB0s）】 ・ヘルスプロモーション活動を考え、それによってどのように人々が健康になるのか、メカニズムを説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 ヘルスプロモーションについて復習しておく（30分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り（ペア学修・グループ学修）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	<p>植田</p>

<p>第14回 1/25</p>	<p>ワーク 発表</p>	<p>【授業の一般目標】 前週のグループワークの内容をグループごとに発表し、発表内容に対して全体でディスカッションを行う。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・グループで考えたヘルスプロモーション活動を発表できる。 ・発表を聞いて自身の意見を言える。</p> <p>【準備学修項目・時間】 プレゼンテーションの準備を行う。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (プレゼンテーション)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>
<p>第15回 2/1</p>	<p>まとめ ハピネス・ファクター探しのすすめ</p>	<p>【授業の一般目標】 健康づくりのアプローチとして「リスク・ファクター (危険因子) 探し」のみならず「ハピネス・ファクター (幸福因子) 探し」を積極的に活用した支援へとシフトすることが求められている。「リスク・ファクター探し」から「ハピネス・ファクター探し」へシフトすることの意義を考える。愛と夢がキーワードである。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・ヘルスプロモーションの考えをもとに「健康をつくる」「ハピネス・ファクター探し」の意義が説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 日常生活で「幸せ」を感じたことを話題として挙げておく。「健康」と「愛」「夢」との関係について考察しておく。(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有り (ペア学修・グループ学修)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>植田</p>